



令和2年度 福島県立ふたば未来学園高等学校 未来創造探求生徒研究発表会

ふたば未来学園の生徒たちは、1年次にはフィールドワークで地域の課題を見つけて演劇で表現し、2年次から3年次にかけては、本校独自の授業「未来創造探求」で地域の住民の方々や行政などとも連携しながら、地域復興に向けた探求と実践を行ってきました。

「未来創造探求」では、地域復興に向けたイベントを開催したり、新たな再生可能エネルギーによる町づくりを模索したり、震災前の地域の特産物を復活させるなど、様々な実践が生まれました。特に今年度は、コロナ禍での学習の分断に伴い、生徒たちは例年以上に考え、悩み、協働しながら探求活動を力強く進めてまいりました。

生徒たちの3年間の取り組みの集大成となる発表会を開催いたします。今年度は来校しての参観は中止とし、オンライン配信による参観とさせていただきます。多くの方のご参観をお待ちしております。

1. 日時 令和2年9月26日（土）
2. 会場（感染症対策として会場を分散し、9分科会で実施します。例年開催する全体会は実施しません。）

- ①多目的教室1 ②多目的教室2 ③多目的教室3 ④理科実験室1 ⑤理科実験室2
⑥被服室 ⑦大会議室（選択11,12） ⑧協働学習ルーム ⑨みらいシアター

4. 発表概要

各探求ゼミごとの発表件数は、以下の表のとおりです。

原子力防災	メディア	再エネ	アグリ	スポーツ	福祉	その他※
8件	14件	5件	3件	10件	11件	1件

5. 日程

- 9:00～9:15 ★開会行事
9:15～10:40 ★分科会Ⅰ（9教室を使用）
10:40～10:55 ★パネルディスカッション
10:55～11:05 休憩、教室移動
11:05～12:45 ★分科会Ⅱ（9教室を使用）
12:45～13:30 昼食（分科会審査）
13:30～14:00 振り返り
14:00～14:50 ★閉会行事（結果発表、表彰、総評）

6. 参加申し込み

- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が拡大している状況を鑑み、**来校しての参観は中止**することといたしました。つきましては、下記のアドレスから申込みいただき、後日メールにて送信されるzoom roomからご参観ください。
- ・ 上記「4. 日程」のうち、★のついたセクションを参観いただけます。
- ・ 上記「3. 会場」それぞれに設定されたzoom roomを自由に参観いただけます。

※ ただし、全体の定員は300名です。



「未来創造探求」とは

「未来創造探求」は、ふたば未来学園のカリキュラム全体の核となる授業です。生徒たち自身が福島・双葉郡の復興を後押しし、持続可能な地域を創造していくことを目指して、2年生～3年生までの2年間にわたって地域で様々なプロジェクトを実践しています。

生徒たちは6つのテーマに分かれて、地域・企業・関係団体、大学・国際機関と連携し、グローバルな課題である「原子力災害からの復興」をテーマの中心に据え、その原因、背景、過程について探求しつつ、地域再生の実践を行っています。

原子力防災探求	メディア・コミュニケーション探求	再生可能エネルギー探求	アグリ・ビジネス探求	スポーツと健康探求	福祉と健康探求
原子力災害によって失われた地域コミュニティの再構築について研究する。	海外を含めた、異文化の方々に向けた情報発信やコミュニケーションの有効な方策を研究する。	福島の現状を踏まえた、望ましい人間社会と、地球環境やエネルギーの関係性について研究する。	福島の復興につなげる、今後の農業とビジネスを研究する。	福島地域を、スポーツを通じて豊かにする方策を研究する。	福島地域において、少子高齢化が加速する中での健康長寿の実現の方策を研究する。

生徒たちの実践（昨年度の実績例）

地域交換留学

福島復興に関する県内外の問題意識の差の解消や、福島のみならず全国の地域課題を自分事として捉え行動する若者のエンパワーメントを目指して、福島と全国の高校生が互いの地域を訪問して問題解決のきっかけをつくる独自のプログラム「地域交換留学」を企画し実践。フィールドワーク、ホームステイ、未来予測データも活用した地域未来会議を意図的に組み合わせ、資金調達・参加校募集等も生徒自ら実施。



双葉郡のイメージチェン（木戸川の鮭フレーク）

福島・双葉郡に対する情報を分析した結果、誤った情報も溢れている中で、双葉郡のイメージチェンジのための有効な方策を検討。「味覚」を通して前向きなイメージを発信することとし、特に風評の被害が懸念される魚に着目。漁協や企業に通い詰めて交渉し、地元産の鮭を使った商品を開発・発売。パッケージ、広告、お勧めレシピも自ら制作し、販売会を開催するなど積極的に発信。



お問い合わせ 担当：企画・研究開発部 橋爪清成
 電話： 0240-23-6825 メール：hashizume.kiyonari@fcs.ed.jp